

- 「入退院時の保証人」が「あり」の者は、「継続2年以下」の比率が高かった。
- 「施設等入居時対応」が「あり」の者は、「継続2年以上」と「継続2年以下」の比率が高かった。
- 「アパート等入居時対応」が「あり」の者は、「継続2年以上」と「継続2年以下」の比率が高かった。
- 「警察対応」が「あり」の者は、「継続2年以下」の比率が高かった。
- 「死後対応」が「あり」の者は、「継続2年以下」の比率が高かった。

表Ⅲ－3－16 「n.follow.up.4C」と「定着の支援内容(緊急連絡先・身元引受)」とのクロス表

	継続2年以上		継続2年以下		終了2年以上		終了2年以下		p.value
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	
緊急連絡先の登録									
なし	498	21.78	721	31.54	430	18.81	637	27.87	p<.001
あり	175	35.50	188	38.13	56	11.36	74	15.01	
合計	673	24.22	909	32.71	486	17.49	711	25.58	
手術時の同意									
なし	666	24.48	872	32.05	482	17.71	701	25.76	p<.001
あり	7	12.07	37	63.79	4	6.90	10	17.24	
合計	673	24.22	909	32.71	486	17.49	711	25.58	
入退院時の保証人									
なし	652	24.22	863	32.06	476	17.68	701	26.04	p<.001
あり	21	24.14	46	52.87	10	11.49	10	11.49	
合計	673	24.22	909	32.71	486	17.49	711	25.58	
施設等入居時対応									
なし	621	23.67	850	32.39	468	17.84	685	26.11	0.001
あり	52	33.55	59	38.06	18	11.61	26	16.77	
合計	673	24.22	909	32.71	486	17.49	711	25.58	
アパート等入居時対応									
なし	632	23.79	859	32.33	474	17.84	692	26.04	0.001
あり	41	33.61	50	40.98	12	9.84	19	15.57	
合計	673	24.22	909	32.71	486	17.49	711	25.58	
警察対応									
なし	658	24.53	864	32.21	471	17.56	689	25.69	0.028
あり	15	15.46	45	46.39	15	15.46	22	22.68	
合計	673	24.22	909	32.71	486	17.49	711	25.58	
死後対応									
なし	663	24.49	873	32.25	477	17.62	694	25.64	0.014
あり	10	13.89	36	50.00	9	12.50	17	23.61	
合計	673	24.22	909	32.71	486	17.49	711	25.58	

(9) 「n.follow.up.4C」とインフォーマルな支援との関係

「n.follow.up.4C」とインフォーマルな支援との間に統計的に有意な差が見られたのは、「親の関与(p=.005)」、「親の物理的関与・支援(p=.002)」、「親の情緒的関与支え(p<.001)」、「子の関与(p=.018)」、「子の物理的関与・支援(p=.033)」、「子の情緒的関与支え(p=.005)」、「子の関与による負の影響

響($p=.034$)」、「親族の関与($p<.001$)」、「親族の情緒的関与支援($p<.001$)」、「友人・知人の情緒的関与支援($p=.003$)」、「配偶者の関与($p<.001$)」、「配偶者の物理的関与・支援($p=.010$)」、「配偶者の情緒的関与支援($p<.001$)」、「地域住民の情緒的関与支援($p=.007$)」、「社会参加による関与($p<.001$)」、「社会参加による情緒的関与支援($p=.043$)」であった(表Ⅲ-3-17)。

そこで、当該支援が「なし」の者と「あり」の者との比率の差が0.05ポイント(5%)以上あるものについて見た結果、以下のことが明らかになった。

「親の関与」が「なし」の者は、「終了2年以下」の比率が高く、「あり」の者は、「継続2年以上」の比率が高かった。

「親の物理的関与・支援」が「なし」の者は、「終了2年以上」と「終了2年以下」の比率が高く、「あり」の者は、「継続2年以下」の比率が高かった。

「親の情緒的関与支援」が「なし」の者は、「終了2年以上」と「終了2年以下」の比率が高く、「あり」の者は、「継続2年以上」と「継続2年以下」の比率が高かった。

「子の関与」が「なし」の者は、「終了2年以下」の比率が高く、「あり」の者は、「継続2年以上」の比率が高かった。

「子の物理的関与・支援」が「なし」の者は、「終了2年以上」と「終了2年以下」の比率が高く、「あり」の者は、「継続2年以上」と「継続2年以下」の比率が高かった。

「子の情緒的関与支援」が「なし」の者は、「終了2年以下」の比率が高く、「あり」の者は、「継続2年以上」と「継続2年以下」の比率が高かった。

「子の関与による負の影響」が「なし」の者は、「終了2年以下」の比率が高く、「あり」の者は、「継続2年以下」の比率が高かった。

「親族の関与」が「なし」の者は、「終了2年以上」と「終了2年以下」の比率が高く、「あり」の者は、「継続2年以上」と「継続2年以下」の比率が高かった。

「親族の情緒的関与支援」が「なし」の者は、「終了2年以上」と「終了2年以下」の比率が高く、「あり」の者は、「継続2年以上」と「継続2年以下」の比率が高かった。

「友人・知人の情緒的関与支援」が「なし」の者は、「終了2年以下」の比率が高く、「あり」の者は、「継続2年以上」と「継続2年以下」の比率が高かった。

「配偶者の関与」が「なし」の者は、「終了2年以上」と「終了2年以下」の比率が高く、「あり」の者は、「継続2年以上」の比率が高かった。

「配偶者の物理的関与・支援」が「なし」の者は、「終了2年以上」の比率が高く、「あり」の者は、「継続2年以上」の比率が高かった。

「配偶者の情緒的関与支援」が「なし」の者は、「継続2年以下」と「終了2年以上」と「終了2年以下」の比率が高く、「あり」の者は、「継続2年以上」の比率が高かった。

「地域住民の情緒的関与支援」が「なし」の者は、「終了2年以上」と「終了2年以下」の比率が高く、「あり」の者は、「継続2年以上」の比率が高かった。

「社会参加による関与」が「なし」の者は、「終了2年以上」と「終了2年以下」の比率が高く、「あり」の者は、「継続2年以上」と「継続2年以下」の比率が高かった。

「社会参加による情緒的関与支え」が「なし」の者は、「終了2年以下」の比率が高く、「あり」の者は、「継続2年以上」の比率が高かった。

- ポイント
- 「親の関与」が「あり」の者は、「継続2年以上」の比率が高かった。
 - 「親の物理的関与・支援」が「あり」の者は、「継続2年以下」の比率が高かった。
 - 「親の情緒的関与支え」が「あり」の者は、「継続2年以上」と「継続2年以下」の比率が高かった。
 - 「子の関与」が「あり」の者は、「継続2年以上」の比率が高かった。
 - 「子の物理的関与・支援」が「あり」の者は、「継続2年以上」と「継続2年以下」の比率が高かった。
 - 「子の情緒的関与支え」が「あり」の者は、「継続2年以上」と「継続2年以下」の比率が高かった。
 - 「子の関与による負の影響」が「あり」の者は、「継続2年以下」の比率が高かった。
 - 「親族の関与」が「あり」の者は、「継続2年以上」と「継続2年以下」の比率が高かった。
 - 「親族の情緒的関与支え」が「あり」の者は、「継続2年以上」と「継続2年以下」の比率が高かった。
 - 「友人・知人の情緒的関与支え」が「あり」の者は、「継続2年以上」と「継続2年以下」の比率が高かった。
 - 「配偶者の関与」が「あり」の者は、「継続2年以上」の比率が高かった。
 - 「配偶者の物理的関与・支援」が「あり」の者は、「継続2年以上」の比率が高かった。
 - 「配偶者の情緒的関与支え」が「あり」の者は、「継続2年以上」の比率が高かった。
 - 「地域住民の情緒的関与支え」が「あり」の者は、「継続2年以上」の比率が高かった。
 - 「社会参加による関与」が「あり」の者は、「継続2年以上」と「継続2年以下」の比率が高かった。
 - 「社会参加による情緒的関与支え」が「あり」の者は、「継続2年以上」の比率が高かった。

表Ⅲ－3－17 「n.follow.up.4C」と「インフォーマルな支援」とのクロス表

	継続2年以上		継続2年以下		終了2年以上		終了2年以下		p.value
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	
親の関与									
なし	536	23.21	747	32.35	411	17.80	615	26.63	0.005
あり	137	29.15	162	34.47	75	15.96	96	20.43	
合計	673	24.22	909	32.71	486	17.49	711	25.58	
親の物理的関与・支援									
なし	617	23.92	826	32.03	464	17.99	672	26.06	0.002
あり	56	28.00	83	41.50	22	11.00	39	19.50	
合計	673	24.22	909	32.71	486	17.49	711	25.58	
親の情緒的関与支え									
なし	584	23.21	810	32.19	457	18.16	665	26.43	p<.001
あり	89	33.84	99	37.64	29	11.03	46	17.49	
合計	673	24.22	909	32.71	486	17.49	711	25.58	

親の関与による負の影響										
なし	631	24.05	857	32.66	462	17.61	674	25.69	n.s.	
あり	42	27.10	52	33.55	24	15.48	37	23.87		
合計	673	24.22	909	32.71	486	17.49	711	25.58		
子の関与										
なし	617	23.80	840	32.41	456	17.59	679	26.20	0.018	
あり	56	29.95	69	36.90	30	16.04	32	17.11		
合計	673	24.22	909	32.71	486	17.49	711	25.58		
子の物理的関与・支援										
なし	653	23.98	887	32.57	479	17.59	704	25.85	0.033	
あり	20	35.71	22	39.29	7	12.50	7	12.50		
合計	673	24.22	909	32.71	486	17.49	711	25.58		
子の情緒的関与・支え										
なし	641	23.97	866	32.39	469	17.54	698	26.10	0.005	
あり	32	30.48	43	40.95	17	16.19	13	12.38		
合計	673	24.22	909	32.71	486	17.49	711	25.58		
子の関与による負の影響										
なし	663	24.27	886	32.43	477	17.46	706	25.84	0.034	
あり	10	21.28	23	48.94	9	19.15	5	10.64		
合計	673	24.22	909	32.71	486	17.49	711	25.58		
親族の関与										
なし	514	23.00	708	31.68	414	18.52	599	26.80	p<.001	
あり	159	29.23	201	36.95	72	13.24	112	20.59		
合計	673	24.22	909	32.71	486	17.49	711	25.58		
親族の物理的関与・支援										
なし	618	23.98	833	32.32	461	17.89	665	25.81	n.s.	
あり	55	27.23	76	37.62	25	12.38	46	22.77		
合計	673	24.22	909	32.71	486	17.49	711	25.58		
親族の情緒的関与・支え										
なし	573	23.14	791	31.95	453	18.30	659	26.62	p<.001	
あり	100	33.00	118	38.94	33	10.89	52	17.16		
合計	673	24.22	909	32.71	486	17.49	711	25.58		
親族の関与による負の影響										
なし	649	24.27	868	32.46	472	17.65	685	25.62	n.s.	
あり	24	22.86	41	39.05	14	13.33	26	24.76		
合計	673	24.22	909	32.71	486	17.49	711	25.58		
友人・知人の関与										
なし	591	24.00	793	32.21	437	17.75	641	26.04	n.s.	
あり	82	25.87	116	36.59	49	15.46	70	22.08		
合計	673	24.22	909	32.71	486	17.49	711	25.58		
友人・知人の物理的関与・支援										
なし	654	24.20	878	32.48	476	17.61	695	25.71	n.s.	
あり	19	25.00	31	40.79	10	13.16	16	21.05		
合計	673	24.22	909	32.71	486	17.49	711	25.58		

友人・知人の情緒的関与 支え										
なし	619	23.76	841	32.28	463	17.77	682	26.18	0.003	
あり	54	31.03	68	39.08	23	13.22	29	16.67		
合計	673	24.22	909	32.71	486	17.49	711	25.58		
友人・知人の関与による 負の影響										
なし	637	24.23	857	32.60	459	17.46	676	25.71	n.s.	
あり	36	24.00	52	34.67	27	18.00	35	23.33		
合計	673	24.22	909	32.71	486	17.49	711	25.58		
恋人の関与										
なし	643	24.06	874	32.71	466	17.44	689	25.79	n.s.	
あり	30	28.04	35	32.71	20	18.69	22	20.56		
合計	673	24.22	909	32.71	486	17.49	711	25.58		
恋人の物理的関与・支援										
なし	662	24.10	896	32.62	482	17.55	707	25.74	n.s.	
あり	11	34.38	13	40.63	4	12.50	4	12.50		
合計	673	24.22	909	32.71	486	17.49	711	25.58		
恋人の情緒的関与支え										
なし	652	24.08	886	32.72	475	17.54	695	25.66	n.s.	
あり	21	29.58	23	32.39	11	15.49	16	22.54		
合計	673	24.22	909	32.71	486	17.49	711	25.58		
恋人の関与による負の影 響										
なし	658	24.16	891	32.71	475	17.44	700	25.70	n.s.	
あり	15	27.27	18	32.73	11	20.00	11	20.00		
合計	673	24.22	909	32.71	486	17.49	711	25.58		
配偶者の関与										
なし	647	23.71	893	32.72	485	17.77	704	25.80	p<.001	
あり	26	52.00	16	32.00	1	2.00	7	14.00		
合計	673	24.22	909	32.71	486	17.49	711	25.58		
配偶者の物理的関与・支 援										
なし	661	24.00	902	32.75	486	17.65	705	25.60	0.010	
あり	12	48.00	7	28.00	0	0.00	6	24.00		
合計	673	24.22	909	32.71	486	17.49	711	25.58		
配偶者の情緒的関与支え										
なし	656	23.85	902	32.80	486	17.67	706	25.67	p<.001	
あり	17	58.62	7	24.14	0	0.00	5	17.24		
合計	673	24.22	909	32.71	486	17.49	711	25.58		
配偶者の関与による負の 影響										
なし	666	24.10	904	32.71	485	17.55	709	25.65	n.s.	
あり	7	46.67	5	33.33	1	6.67	2	13.33		
合計	673	24.22	909	32.71	486	17.49	711	25.58		

地域住民の関与									
なし	633	23.78	875	32.87	468	17.58	686	25.77	n.s.
あり	40	34.19	34	29.06	18	15.38	25	21.37	
合計	673	24.22	909	32.71	486	17.49	711	25.58	
地域住民の物理的関与・支援									
なし	665	24.22	899	32.74	480	17.48	702	25.56	n.s.
あり	8	24.24	10	30.30	6	18.18	9	27.27	
合計	673	24.22	909	32.71	486	17.49	711	25.58	
地域住民の情緒的関与・支援									
なし	647	23.80	890	32.74	481	17.70	700	25.75	0.007
あり	26	42.62	19	31.15	5	8.20	11	18.03	
合計	673	24.22	909	32.71	486	17.49	711	25.58	
地域住民の関与による負の影響									
なし	660	24.00	902	32.80	484	17.60	704	25.60	n.s.
あり	13	44.83	7	24.14	2	6.90	7	24.14	
合計	673	24.22	909	32.71	486	17.49	711	25.58	
社会参加による関与									
なし	606	23.67	820	32.03	461	18.01	673	26.29	p<.001
あり	67	30.59	89	40.64	25	11.42	38	17.35	
合計	673	24.22	909	32.71	486	17.49	711	25.58	
社会参加による物理的関与・支援									
なし	653	24.14	878	32.46	479	17.71	695	25.69	n.s.
あり	20	27.03	31	41.89	7	9.46	16	21.62	
合計	673	24.22	909	32.71	486	17.49	711	25.58	
社会参加による情緒的関与・支援									
なし	637	23.88	868	32.53	471	17.65	692	25.94	0.043
あり	36	32.43	41	36.94	15	13.51	19	17.12	
合計	673	24.22	909	32.71	486	17.49	711	25.58	
社会参加による関与の負の影響									
なし	672	24.30	903	32.65	485	17.53	706	25.52	n.s.
あり	1	7.69	6	46.15	1	7.69	5	38.46	
合計	673	24.22	909	32.71	486	17.49	711	25.58	

(10) 「n.follow.up.4C」と関係機関等との連携との関係

「n.follow.up.4C」と関係機関等との連携との間に統計的に有意な差が見られたのは、「相談支援事業所の利用 (p<.001)」、「障害福祉サービス通所系の利用 (p<.001)」、「障害福祉サービス居住系の利用 (p<.001)」、「居宅介護支援事業所・ケアマネの利用 (p=.001)」、「介護保険サービス居住系の

利用(p<.001)」、「訪問介護サービスの利用(p<.001)」、「日常生活自立支援事業の利用(p=.005)」、「訪問看護の利用(p<.001)」であった(表Ⅲ-3-18)。

そこで、当該関係機関等との連携が「なし」の者と「あり」の者との比率の差が0.05ポイント(5%)以上あるものについて見た結果、以下のことが明らかになった。

「相談支援事業所の利用」が「なし」の者は、「終了2年以下」の比率が高く、「あり」の者は、「継続2年以上」と「継続2年以下」の比率が高かった。

「障害福祉サービス通所系の利用」が「なし」の者は、「終了2年以下」の比率が高く、「あり」の者は、「継続2年以下」の比率が高く(比率差=4.61)、「終了2年以下」の比率が低かった。

「障害福祉サービス居住系の利用」が「なし」の者は、「終了2年以下」の比率が高く、「あり」の者は、「継続2年以上」の比率が高かった。

「居宅介護支援事業所・ケアマネの利用」が「なし」の者は、「終了2年以下」の比率が高く、「あり」の者は、「継続2年以下」の比率が高かった。

「介護保険サービス居住系の利用」が「なし」の者は、「継続2年以下」の比率が高く、「あり」の者は、「終了2年以上」の比率が高かった。

「訪問介護サービスの利用」が「なし」の者は、「終了2年以下」の比率が高く、「あり」の者は、「継続2年以下」と「終了2年以上」の比率が高かった。

「日常生活自立支援事業の利用」が「なし」の者は、「終了2年以下」の比率が高く、「あり」の者は、「終了2年以上」の比率が高かった。

「訪問看護の利用」が「なし」の者は、「終了2年以下」の比率が高く、「あり」の者は、「継続2年以上」と「継続2年以下」の比率が高かった。

ポイント

- 「相談支援事業所の利用」が「あり」の者は、「継続2年以上」と「継続2年以下」の比率が高かった。
- 「障害福祉サービス通所系の利用」が「あり」の者は、「継続2年以下」の比率が高く、「終了2年以下」の比率が低かった。
- 「障害福祉サービス居住系の利用」が「あり」の者は、「継続2年以上」の比率が高かった。
- 「居宅介護支援事業所・ケアマネの利用」が「あり」の者は、「継続2年以下」の比率が高かった。
- 「介護保険サービス居住系の利用」が「あり」の者は、「終了2年以上」の比率が高かった。
- 「訪問介護サービスの利用」が「あり」の者は、「継続2年以下」と「終了2年以上」の比率が高かった。
- 「日常生活自立支援事業の利用」が「あり」の者は、「終了2年以上」の比率が高かった。
- 「訪問看護の利用」が「あり」の者は、「継続2年以上」と「継続2年以下」の比率が高かった。

表Ⅲ－3－18 「n.follow.up.4C」と「関係機関等との連携」とのクロス表

	継続2年以上		継続2年以下		終了2年以上		終了2年以下		p.value
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	
成年後見制度の利用									
なし	633	24.06	861	32.73	458	17.41	679	25.81	n.s.
あり	40	27.03	48	32.43	28	18.92	32	21.62	
合計	673	24.22	909	32.71	486	17.49	711	25.58	
相談支援事業所の利用									
なし	389	22.13	541	30.77	316	17.97	512	29.12	p<.001
あり	284	27.82	368	36.04	170	16.65	199	19.49	
合計	673	24.22	909	32.71	486	17.49	711	25.58	
障害福祉サービス通所系の利用									
なし	461	23.06	628	31.42	349	17.46	561	28.06	p<.001
あり	212	27.18	281	36.03	137	17.56	150	19.23	
合計	673	24.22	909	32.71	486	17.49	711	25.58	
障害福祉サービス訪問系の利用									
なし	640	23.92	877	32.77	467	17.45	692	25.86	n.s.
あり	33	32.04	32	31.07	19	18.45	19	18.45	
合計	673	24.22	909	32.71	486	17.49	711	25.58	
障害福祉サービス居住系の利用									
なし	485	22.61	682	31.79	374	17.44	604	28.16	p<.001
あり	188	29.65	227	35.80	112	17.67	107	16.88	
合計	673	24.22	909	32.71	486	17.49	711	25.58	
包括支援センターの利用									
なし	611	24.15	813	32.13	450	17.79	656	25.93	n.s.
あり	62	24.90	96	38.55	36	14.46	55	22.09	
合計	673	24.22	909	32.71	486	17.49	711	25.58	
居宅介護支援事業所・ケアマネの利用									
なし	600	24.46	782	31.88	419	17.08	652	26.58	0.001
あり	73	22.39	127	38.96	67	20.55	59	18.10	
合計	673	24.22	909	32.71	486	17.49	711	25.58	
介護保険サービス通所系の利用									
なし	634	24.34	840	32.25	454	17.43	677	25.99	n.s.
あり	39	22.41	69	39.66	32	18.39	34	19.54	
合計	673	24.22	909	32.71	486	17.49	711	25.58	
介護保険サービス居住系の利用									
なし	616	24.43	842	33.40	415	16.46	648	25.70	p<.001
あり	57	22.09	67	25.97	71	27.52	63	24.42	
合計	673	24.22	909	32.71	486	17.49	711	25.58	

訪問介護サービスの利用									
なし	633	24.38	836	32.20	441	16.99	686	26.43	p<.001
あり	40	21.86	73	39.89	45	24.59	25	13.66	
合計	673	24.22	909	32.71	486	17.49	711	25.58	
日常生活自立支援事業の利用									
なし	639	24.03	868	32.64	457	17.19	695	26.14	0.005
あり	34	28.33	41	34.17	29	24.17	16	13.33	
合計	673	24.22	909	32.71	486	17.49	711	25.58	
精神科病院の利用									
なし	329	21.12	450	28.88	301	19.32	478	30.68	n.s.
あり	344	28.17	459	37.59	185	15.15	233	19.08	
合計	673	24.22	909	32.71	486	17.49	711	25.58	
訪問看護の利用									
なし	606	23.73	812	31.79	451	17.66	685	26.82	p<.001
あり	67	29.78	97	43.11	35	15.56	26	11.56	
合計	673	24.22	909	32.71	486	17.49	711	25.58	

(11) 「n.follow.up.4C」と収入状況との関係

「n.follow.up.4C」と収入状況との間に統計的に有意な差が見られたのは、「生活保護による収入(p<.001)」、「障害年金による収入(p<.001)」、「老齢年金による収入(p=.006)」、「福祉的就労による収入(p<.001)」であった(表Ⅲ-3-19)。

そこで、当該収入が「なし」の者と「あり」の者との比率の差が0.05ポイント(5%)以上あるものについて見た結果、以下のことが明らかになった。

「生活保護による収入」が「なし」の者は、「終了2年以下」の比率が高く、「あり」の者は、「継続2年以上」の比率が高く(比率差=4.99)、「終了2年以下」の比率が低かった。

「障害年金による収入」が「なし」の者は、「終了2年以下」の比率が高く、「あり」の者は、「継続2年以上」の比率が高かった。

「老齢年金による収入」が「なし」の者は、「終了2年以上」の比率が高く、「あり」の者は、「継続2年以下」の比率が高く(比率差=4.24)、「終了2年以上」の比率が低かった。

「福祉的就労による収入」が「なし」の者は、「終了2年以下」の比率が高く、「あり」の者は、「継続2年以上」の比率が高かった。

ポイント

- 「生活保護による収入」が「あり」の者は、「継続2年以上」の比率が高く、「終了2年以下」の比率が低かった。
- 「障害年金による収入」が「あり」の者は、「継続2年以上」の比率が高かった。
- 「老齢年金による収入」が「あり」の者は、「継続2年以下」の比率が高く、「終了2年以上」の比率が低かった。
- 「福祉的就労による収入」が「あり」の者は、「継続2年以上」の比率が高かった。

表Ⅲ－3－19 「n.follow.up.4C」と「収入状況」とのクロス表

	継続2年以上		継続2年以下		終了2年以上		終了2年以下		p.value
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	
生活保護による収入									
なし	155	20.58	247	32.80	112	14.87	239	31.74	p<.001
あり	518	25.57	662	32.68	374	18.46	472	23.30	
合計	673	24.22	909	32.71	486	17.49	711	25.58	
障害年金による収入									
なし	527	22.44	769	32.75	422	17.97	630	26.83	p<.001
あり	146	33.87	140	32.48	64	14.85	81	18.79	
合計	673	24.22	909	32.71	486	17.49	711	25.58	
老齢年金による収入									
なし	566	24.21	749	32.04	433	18.52	590	25.24	0.006
あり	107	24.26	160	36.28	53	12.02	121	27.44	
合計	673	24.22	909	32.71	486	17.49	711	25.58	
その他年金による収入									
なし	658	24.18	892	32.78	476	17.49	695	25.54	n.s.
あり	15	25.86	17	29.31	10	17.24	16	27.59	
合計	673	24.22	909	32.71	486	17.49	711	25.58	
一般企業による就労収入									
なし	637	23.79	878	32.79	473	17.66	690	25.77	n.s.
あり	36	35.64	31	30.69	13	12.87	21	20.79	
合計	673	24.22	909	32.71	486	17.49	711	25.58	
福祉的就労による収入									
なし	525	22.65	752	32.44	404	17.43	637	27.48	p<.001
あり	148	32.10	157	34.06	82	17.79	74	16.05	
合計	673	24.22	909	32.71	486	17.49	711	25.58	

4. 「再犯の有無」と他の変数との関係について

次に、「再犯の有無」と他の変数との関係について分析を行うために、クロス集計表に対する χ^2 検定(フィッシャーの正確確率検定)を行った。

なお、「再犯あり」の者は「フォローアップ状況」、「終了理由」については、定数(全員が同じ値)であるため、また「現居所」については非該当であるため、これらの変数に関する分析は行わなかったということを付記しておく。

(1) 「再犯の有無」と調査対象者の基本情報との関係

「再犯の有無」と調査対象者の基本情報との関係では、統計的に有意な差が見られる変数はなかった(表Ⅲ－4－1)。

表Ⅲ-4-1 「再犯の有無」と「調査対象者と基本情報」とのクロス表

	再犯なし		再犯あり		p.value
	度数	%	度数	%	
性別					
女性	312	91.76	28	8.24	n.s.
男性	2,208	90.86	222	9.14	
合計	2,520	90.97	250	9.03	
調整種別					
一般調整	282	91.26	27	8.74	n.s.
特別調整	2,246	90.97	223	9.03	
合計	2,528	91.00	250	9.00	

(2)「再犯の有無」と移行回数の有無との関係

「再犯の有無」と移行回数の有無との関係では、全ての変数において統計的に有意な差が見られなかった(表Ⅲ-4-2)。

(「再犯の有無」と「移行1回目」の移行先との関係)

「再犯の有無」と「移行1回目」の移行先との間に統計的に有意な差が見られたのは、「更生保護施設(p=.001)」、「障がい者支援施設(p=.008)」、「養護老人ホーム(p=.022)」であった(表Ⅲ-4-3)。そこで、当該施設へ「移行あり」と回答した者の比率について見た結果、以下のことが明らかになった。

- 「更生保護施設」へ「移行あり」の者は、「再犯あり」の比率が高かった。
- 「障がい者支援施設」へ「移行あり」の者は、「再犯なし」の比率が高かった。
- 「養護老人ホーム」へ「移行あり」の者は、「再犯なし」の比率が高かった。

(「再犯の有無」と「移行2回目」の移行先との関係)

「再犯の有無」と「移行2回目」の移行先との間に統計的に有意な差が見られたのは、「自宅・アパート(p<.001)」、「サービス付き高齢者住宅(p=.044)」、「養護老人ホーム(p=.001)」、「有料老人ホーム(p=.002)」、「無料低額宿泊所・簡易宿泊所(p=.026)」であった(表Ⅲ-4-4)。そこで、当該施設へ「移行あり」と回答した者の比率について見た結果、以下のことが明らかになった。

- 「自宅・アパート」へ「移行あり」の者は、「再犯あり」の比率が高かった。
- 「サービス付き高齢者住宅」へ「移行あり」の者は、「再犯なし」の比率が高かった。
- 「養護老人ホーム」へ「移行あり」の者は、「再犯なし」の比率が高かった。
- 「有料老人ホーム」へ「移行あり」の者は、「再犯なし」の比率が高かった。
- 「無料低額宿泊所・簡易宿泊所」へ「移行あり」の者は、「再犯あり」の比率が高かった。

(「再犯の有無」と「移行3回目」の移行先との関係)

「再犯の有無」と「移行3回目」の移行先との間に統計的に有意な差が見られたのは、「更生保護施設(p=.025)」、「自立準備ホーム(p=.008)」、「病院(p=.029)」であった(表Ⅲ-4-5)。そこで、当該施設へ「移行あり」と回答した者の比率について見た結果、以下のことが明らかになった。

- 「更生保護施設」へ「移行あり」の者は、「再犯あり」の比率が高かった。
- 「自立準備ホーム」へ「移行あり」の者は、「再犯あり」の比率が高かった。
- 「病院」へ「移行あり」の者は、「再犯なし」の比率が高かった。

(「再犯の有無」と「移行4回目」「移行5回目」の移行先との関係)

「移行4回目」、「移行5回目」については(表Ⅲ-4-6から表Ⅲ-4-7)、「再犯の有無」と移行先との間に統計的に有意な差は見られなかった。

ポイント

- 「再犯の有無」と移行回数の有無との関係では、全ての変数において統計的に有意な差が見られなかった

(1回目の移行先との関係)

- 「更生保護施設」へ「移行あり」の者は、「再犯あり」の比率が高かった。
- 「障がい者支援施設」へ「移行あり」の者は、「再犯なし」の比率が高かった。
- 「養護老人ホーム」へ「移行あり」の者は、「再犯なし」の比率が高かった。

(2回目の移行先との関係)

- 「自宅・アパート」へ「移行あり」の者は、「再犯あり」の比率が高かった。
- 「サービス付き高齢者住宅」へ「移行あり」の者は、「再犯なし」の比率が高かった。
- 「養護老人ホーム」へ「移行あり」の者は、「再犯なし」の比率が高かった。
- 「有料老人ホーム」へ「移行あり」の者は、「再犯なし」の比率が高かった。
- 「無料低額宿泊所・簡易宿泊所」へ「移行あり」の者は、「再犯あり」の比率が高かった。

(3回目の移行先との関係)

- 「更生保護施設」へ「移行あり」の者は、「再犯あり」の比率が高かった。
- 「自立準備ホーム」へ「移行あり」の者は、「再犯あり」の比率が高かった。
- 「病院」へ「移行あり」の者は、「再犯なし」の比率が高かった。

(「移行4回目」「移行5回目」の移行先との関係)

- 移行回数が4回目以上になると、「再犯の有無」と移行先との間には、統計的に有意な差が見られなかった。

表Ⅲ-4-2 「再犯の有無」と「移行の状況」とのクロス表

	再犯なし		再犯あり		p.value
	度数	%	度数	%	
移行2回目					
なし	1,112	91.30	106	8.70	n.s.
あり	1,418	90.78	144	9.22	
合計	2,530	91.01	250	8.99	
移行3回目					
なし	2,082	90.92	208	9.08	n.s.
あり	448	91.43	42	8.57	
合計	2,530	91.01	250	8.99	
移行4回目					
なし	2,377	91.00	235	9.00	n.s.
あり	153	91.07	15	8.93	
合計	2,530	91.01	250	8.99	
移行5回目					
なし	2,476	90.86	249	9.14	n.s.
あり	53	98.15	1	1.85	
合計	2,529	91.00	250	9.00	

表Ⅲ-4-3 「再犯の有無」と「移行1回目」とのクロス表

	再犯なし		再犯あり		p.value
	度数	%	度数	%	
移行1回目更生保護施設					
移行なし	2,056	91.99	179	8.01	0.001
移行あり	460	87.29	67	12.71	
合計	2,516	91.09	246	8.91	
移行1回目自立準備ホーム					
移行なし	2,093	90.84	211	9.16	n.s.
移行あり	423	92.36	35	7.64	
合計	2,516	91.09	246	8.91	
移行1回目自宅・アパート					
移行なし	2,219	91.47	207	8.53	n.s.
移行あり	297	88.39	39	11.61	
合計	2,516	91.09	246	8.91	
移行1回目公営住宅					
移行なし	2,506	91.09	245	8.91	n.s.
移行あり	10	90.91	1	9.09	
合計	2,516	91.09	246	8.91	
移行1回目障がい者支援施設					
移行なし	2,399	90.80	243	9.20	0.008
移行あり	117	97.50	3	2.50	
合計	2,516	91.09	246	8.91	

移行1回目障がい者グループホーム					
移行なし	2,202	91.29	210	8.71	n.s.
移行あり	314	89.71	36	10.29	
合計	2,516	91.09	246	8.91	
移行1回目病院					
移行なし	2,303	90.88	231	9.12	n.s.
移行あり	213	93.42	15	6.58	
合計	2,516	91.09	246	8.91	
移行1回目日常生活支援住居施設					
移行なし	2,509	91.10	245	8.90	n.s.
移行あり	7	87.50	1	12.50	
合計	2,516	91.09	246	8.91	
移行1回目生活保護施設					
移行なし	2,410	91.12	235	8.88	n.s.
移行あり	106	90.60	11	9.40	
合計	2,516	91.09	246	8.91	
移行1回目サービス付き高齢者住宅					
移行なし	2,480	91.04	244	8.96	n.s.
移行あり	36	94.74	2	5.26	
合計	2,516	91.09	246	8.91	
移行1回目小規模多機能型居宅介護施設					
移行なし	2,512	91.08	246	8.92	n.s.
移行あり	4	100.00	0	0.00	
合計	2,516	91.09	246	8.91	
移行1回目認知症グループホーム					
移行なし	2,508	91.07	246	8.93	n.s.
移行あり	8	100.00	0	0.00	
合計	2,516	91.09	246	8.91	
移行1回目養護老人ホーム					
移行なし	2,414	90.85	243	9.15	0.022
移行あり	102	97.14	3	2.86	
合計	2,516	91.09	246	8.91	
移行1回目有料老人ホーム					
移行なし	2,445	90.93	244	9.07	n.s.
移行あり	71	97.26	2	2.74	
合計	2,516	91.09	246	8.91	
移行1回目特別養護老人ホーム					
移行なし	2,499	91.04	246	8.96	n.s.
移行あり	17	100.00	0	0.00	
合計	2,516	91.09	246	8.91	

移行1回目無料低額宿泊所・簡易宿泊所					
移行なし	2,368	91.08	232	8.92	n.s.
移行あり	148	91.36	14	8.64	
合計	2,516	91.09	246	8.91	
移行1回目その他					
移行なし	2,333	91.06	229	8.94	n.s.
移行あり	183	91.50	17	8.50	
合計	2,516	91.09	246	8.91	

表Ⅲ-4-4 「再犯の有無」と「移行2回目」とのクロス表

	再犯なし		再犯あり		p.value
	度数	%	度数	%	
移行2回目更生保護施設					
移行なし	1,391	90.86	140	9.14	n.s.
移行あり	16	80.00	4	20.00	
合計	1,407	90.72	144	9.28	
移行2回目自立準備ホーム					
移行なし	1,373	90.69	141	9.31	n.s.
移行あり	34	91.89	3	8.11	
合計	1,407	90.72	144	9.28	
移行2回目自宅・アパート					
移行なし	987	93.29	71	6.71	p<.001
移行あり	420	85.19	73	14.81	
合計	1,407	90.72	144	9.28	
移行2回目公営住宅					
移行なし	1,392	90.63	144	9.38	n.s.
移行あり	15	100.00	0	0.00	
合計	1,407	90.72	144	9.28	
移行2回目障がい者支援施設					
移行なし	1,361	90.55	142	9.45	n.s.
移行あり	46	95.83	2	4.17	
合計	1,407	90.72	144	9.28	
移行2回目障がい者グループホーム					
移行なし	1,138	90.32	122	9.68	n.s.
移行あり	269	92.44	22	7.56	
合計	1,407	90.72	144	9.28	
移行2回目病院					
移行なし	1,243	90.27	134	9.73	n.s.
移行あり	164	94.25	10	5.75	
合計	1,407	90.72	144	9.28	

移行2回目日常生活支援住居施設					
移行なし	1,399	90.67	144	9.33	n.s.
移行あり	8	100.00	0	0.00	
合計	1,407	90.72	144	9.28	
移行2回目生活保護施設					
移行なし	1,350	90.91	135	9.09	n.s.
移行あり	57	86.36	9	13.64	
合計	1,407	90.72	144	9.28	
移行2回目サービス付き高齢者住宅					
移行なし	1,369	90.48	144	9.52	0.044
移行あり	38	100.00	0	0.00	
合計	1,407	90.72	144	9.28	
移行2回目小規模多機能型居宅介護施設					
移行なし	1,405	90.70	144	9.30	n.s.
移行あり	2	100.00	0	0.00	
合計	1,407	90.72	144	9.28	
移行2回目認知症グループホーム					
移行なし	1,400	90.67	144	9.33	n.s.
移行あり	7	100.00	0	0.00	
合計	1,407	90.72	144	9.28	
移行2回目養護老人ホーム					
移行なし	1,326	90.20	144	9.80	0.001
移行あり	81	100.00	0	0.00	
合計	1,407	90.72	144	9.28	
移行2回目有料老人ホーム					
移行なし	1,337	90.28	144	9.72	0.002
移行あり	70	100.00	0	0.00	
合計	1,407	90.72	144	9.28	
移行2回目特別養護老人ホーム					
移行なし	1,390	90.61	144	9.39	n.s.
移行あり	17	100.00	0	0.00	
合計	1,407	90.72	144	9.28	
移行2回目無料低額宿泊所・簡易宿泊所					
移行なし	1,343	91.11	131	8.89	0.026
移行あり	64	83.12	13	16.88	
合計	1,407	90.72	144	9.28	
移行2回目その他					
移行なし	1,308	90.58	136	9.42	n.s.
移行あり	99	92.52	8	7.48	
合計	1,407	90.72	144	9.28	

表Ⅲ-4-5 「再犯の有無」と「移行3回目」とのクロス表

	再犯なし		再犯あり		p.value
	度数	%	度数	%	
移行3回目更生保護施設					
移行なし	440	91.86	39	8.14	0.025
移行あり	5	62.50	3	37.50	
合計	445	91.38	42	8.62	
移行3回目自立準備ホーム					
移行なし	434	92.14	37	7.86	0.008
移行あり	11	68.75	5	31.25	
合計	445	91.38	42	8.62	
移行3回目自宅・アパート					
移行なし	320	92.22	27	7.78	n.s.
移行あり	125	89.29	15	10.71	
合計	445	91.38	42	8.62	
移行3回目公営住宅					
移行なし	439	91.27	42	8.73	n.s.
移行あり	6	100.00	0	0.00	
合計	445	91.38	42	8.62	
移行3回目障がい者支援施設					
移行なし	430	91.30	41	8.70	n.s.
移行あり	15	93.75	1	6.25	
合計	445	91.38	42	8.62	
移行3回目障がい者グループホーム					
移行なし	376	90.82	38	9.18	n.s.
移行あり	69	94.52	4	5.48	
合計	445	91.38	42	8.62	
移行3回目病院					
移行なし	367	90.17	40	9.83	0.029
移行あり	78	97.50	2	2.50	
合計	445	91.38	42	8.62	
移行3回目日常生活支援住居施設					
移行なし	443	91.34	42	8.66	n.s.
移行あり	2	100.00	0	0.00	
合計	445	91.38	42	8.62	
移行3回目生活保護施設					
移行なし	426	91.22	41	8.78	n.s.
移行あり	19	95.00	1	5.00	
合計	445	91.38	42	8.62	
移行3回目サービス付き高齢者住宅					
移行なし	442	91.32	42	8.68	n.s.
移行あり	3	100.00	0	0.00	
合計	445	91.38	42	8.62	

移行3回目小規模多機能型居宅 介護施設					
移行なし	444	91.36	42	8.64	n.s.
移行あり	1	100.00	0	0.00	
合計	445	91.38	42	8.62	
移行3回目認知症グループホーム					
移行なし	442	91.32	42	8.68	n.s.
移行あり	3	100.00	0	0.00	
合計	445	91.38	42	8.62	
移行3回目養護老人ホーム					
移行なし	424	91.18	41	8.82	n.s.
移行あり	21	95.45	1	4.55	
合計	445	91.38	42	8.62	
移行3回目有料老人ホーム					
移行なし	426	91.22	41	8.78	n.s.
移行あり	19	95.00	1	5.00	
合計	445	91.38	42	8.62	
移行3回目特別養護老人ホーム					
移行なし	440	91.29	42	8.71	n.s.
移行あり	5	100.00	0	0.00	
合計	445	91.38	42	8.62	
移行3回目無料低額宿泊所・簡 易宿泊所					
移行なし	421	91.72	38	8.28	n.s.
移行あり	24	85.71	4	14.29	
合計	445	91.38	42	8.62	
移行3回目その他					
移行なし	406	91.65	37	8.35	n.s.
移行あり	39	88.64	5	11.36	
合計	445	91.38	42	8.62	

表Ⅲ-4-6 「再犯の有無」と「移行4回目」とのクロス表

	再犯なし		再犯あり		p.value
	度数	%	度数	%	
移行4回目更生保護施設					
移行なし	149	90.85	15	9.15	n.s.
移行あり	3	100.00	0	0.00	
合計	152	91.02	15	8.98	
移行4回目自立準備ホーム					
移行なし	150	91.46	14	8.54	n.s.
移行あり	2	66.67	1	33.33	
合計	152	91.02	15	8.98	

移行4回目自宅・アパート					
移行なし	116	93.55	8	6.45	n.s.
移行あり	36	83.72	7	16.28	
合計	152	91.02	15	8.98	
移行4回目公営住宅					
移行なし	148	91.36	14	8.64	n.s.
移行あり	4	80.00	1	20.00	
合計	152	91.02	15	8.98	
移行4回目障がい者支援施設					
移行なし	147	90.74	15	9.26	n.s.
移行あり	5	100.00	0	0.00	
合計	152	91.02	15	8.98	
移行4回目障がい者グループホーム					
移行なし	124	90.51	13	9.49	n.s.
移行あり	28	93.33	2	6.67	
合計	152	91.02	15	8.98	
移行4回目病院					
移行なし	118	89.39	14	10.61	n.s.
移行あり	34	97.14	1	2.86	
合計	152	91.02	15	8.98	
移行4回目生活保護施設					
移行なし	145	90.63	15	9.38	n.s.
移行あり	7	100.00	0	0.00	
合計	152	91.02	15	8.98	
移行4回目サービス付き高齢者住宅					
移行なし	149	90.85	15	9.15	n.s.
移行あり	3	100.00	0	0.00	
合計	152	91.02	15	8.98	
移行4回目養護老人ホーム					
移行なし	144	90.57	15	9.43	n.s.
移行あり	8	100.00	0	0.00	
合計	152	91.02	15	8.98	
移行4回目有料老人ホーム					
移行なし	147	90.74	15	9.26	n.s.
移行あり	5	100.00	0	0.00	
合計	152	91.02	15	8.98	
移行4回目特別養護老人ホーム					
移行なし	149	90.85	15	9.15	n.s.
移行あり	3	100.00	0	0.00	
合計	152	91.02	15	8.98	
移行4回目無料低額宿泊所・簡易宿泊所					
移行なし	146	91.82	13	8.18	n.s.
移行あり	6	75.00	2	25.00	
合計	152	91.02	15	8.98	

移行4回目その他					
移行なし	144	91.14	14	8.86	n.s.
移行あり	8	88.89	1	11.11	
合計	152	91.02	15	8.98	

表Ⅲ-4-7 「再犯の有無」と「移行5回目」とのクロス表

	再犯なし		再犯あり		p.value
	度数	%	度数	%	
移行5回目自宅・アパート					
移行なし	40	97.56	1	2.44	n.s.
移行あり	13	100.00	0	0.00	
合計	53	98.15	1	1.85	
移行5回目障がい者支援施設					
移行なし	51	98.08	1	1.92	n.s.
移行あり	2	100.00	0	0.00	
合計	53	98.15	1	1.85	
移行5回目障がい者グループホーム					
移行なし	43	97.73	1	2.27	n.s.
移行あり	10	100.00	0	0.00	
合計	53	98.15	1	1.85	
移行5回目病院					
移行なし	41	100.00	0	0.00	n.s.
移行あり	12	92.31	1	7.69	
合計	53	98.15	1	1.85	
移行5回目生活保護施設					
移行なし	51	98.08	1	1.92	n.s.
移行あり	2	100.00	0	0.00	
合計	53	98.15	1	1.85	
移行5回目養護老人ホーム					
移行なし	51	98.08	1	1.92	n.s.
移行あり	2	100.00	0	0.00	
合計	53	98.15	1	1.85	
移行5回目有料老人ホーム					
移行なし	49	98.00	1	2.00	n.s.
移行あり	4	100.00	0	0.00	
合計	53	98.15	1	1.85	
移行5回目特別養護老人ホーム					
移行なし	52	98.11	1	1.89	n.s.
移行あり	1	100.00	0	0.00	
合計	53	98.15	1	1.85	
移行5回目無料低額宿泊所・簡易宿泊所					
移行なし	52	98.11	1	1.89	n.s.
移行あり	1	100.00	0	0.00	
合計	53	98.15	1	1.85	

移行5回目その他					
移行なし	47	97.92	1	2.08	n.s.
移行あり	6	100.00	0	0.00	
合計	53	98.15	1	1.85	

(3)「再犯の有無」と障がい等との関係

「再犯の有無」と障がい等との間に統計的に有意な差が見られたのは、「身体障がい者手帳1級(p=.033)」、「発達障がいなし(p=.003)」、「発達障がい疑い(p=.030)」、「認知症なし(p<.001)」、「認知症疑い(p=.031)」、「認知症確定(p<.001)」であった(表Ⅲ-4-8)。そこで、当該障がいを「選択」した者の比率について見た結果、以下のことが明らかになった(ポイント省略)。

- 「身体障がい者手帳1級」を「選択」した者は、「再犯なし」の比率が高かった。
- 「発達障がいなし」を「選択」した者は、「再犯なし」の比率が高かった。
- 「発達障がい疑い」を「選択」した者は、「再犯あり」の比率が高かった。
- 「認知症なし」を「選択」した者は、「再犯あり」の比率が高かった。
- 「認知症疑い」を「選択」した者は、「再犯なし」の比率が高かった。
- 「認知症確定」を「選択」した者は、「再犯なし」の比率が高かった。

表Ⅲ-4-8 「再犯の有無」と「障がい・認知症・薬物」とのクロス表

	再犯なし		再犯あり		p.value
	度数	%	度数	%	
身体障がいなし					
非選択	367	90.84	37	9.16	n.s.
選択	2,158	91.09	211	8.91	
合計	2,525	91.06	248	8.94	
身体障がいの疑い					
非選択	2,408	90.94	240	9.06	n.s.
選択	117	93.60	8	6.40	
合計	2,525	91.06	248	8.94	
身体障がいの確定					
非選択	2,275	91.22	219	8.78	n.s.
選択	250	89.61	29	10.39	
合計	2,525	91.06	248	8.94	
身体障がい者手帳1級					
非選択	152	86.86	23	13.14	0.033
選択	48	97.96	1	2.04	
合計	200	89.29	24	10.71	
身体障がい者手帳2級					
非選択	155	88.57	20	11.43	n.s.
選択	45	91.84	4	8.16	
合計	200	89.29	24	10.71	

身体障がい者手帳3級					
非選択	171	90.00	19	10.00	n.s.
選択	29	85.29	5	14.71	
合計	200	89.29	24	10.71	
身体障がい者手帳4級					
非選択	158	91.33	15	8.67	n.s.
選択	42	82.35	9	17.65	
合計	200	89.29	24	10.71	
身体障がい者手帳5級					
非選択	185	89.37	22	10.63	n.s.
選択	15	88.24	2	11.76	
合計	200	89.29	24	10.71	
身体障がい者手帳6級					
非選択	179	89.50	21	10.50	n.s.
選択	21	87.50	3	12.50	
合計	200	89.29	24	10.71	
知的障がいなし					
非選択	1,025	90.23	111	9.77	n.s.
選択	1,499	91.63	137	8.37	
合計	2,524	91.05	248	8.95	
知的障がい疑い					
非選択	2,203	90.96	219	9.04	n.s.
選択	321	91.71	29	8.29	
合計	2,524	91.05	248	8.95	
知的障がい確定					
非選択	1,820	91.64	166	8.36	n.s.
選択	704	89.57	82	10.43	
合計	2,524	91.05	248	8.95	
療育手帳軽度					
非選択	236	86.13	38	13.87	n.s.
選択	369	90.66	38	9.34	
合計	605	88.84	76	11.16	
療育手帳中度					
非選択	388	90.44	41	9.56	n.s.
選択	217	86.11	35	13.89	
合計	605	88.84	76	11.16	
療育手帳重度					
非選択	586	88.92	73	11.08	n.s.
選択	19	86.36	3	13.64	
合計	605	88.84	76	11.16	
精神障がいなし					
非選択	981	90.75	100	9.25	n.s.
選択	1,544	91.25	148	8.75	
合計	2,525	91.06	248	8.94	

精神障がい疑い					
非選択	2,282	90.95	227	9.05	n.s.
選択	243	92.05	21	7.95	
合計	2,525	91.06	248	8.94	
精神障がい確定					
非選択	1,787	91.36	169	8.64	n.s.
選択	738	90.33	79	9.67	
合計	2,525	91.06	248	8.94	
精神障がい者保健福祉手帳1級					
非選択	416	87.21	61	12.79	n.s.
選択	46	90.20	5	9.80	
合計	462	87.50	66	12.50	
精神障がい者保健福祉手帳2級					
非選択	165	85.05	29	14.95	n.s.
選択	297	88.92	37	11.08	
合計	462	87.50	66	12.50	
精神障がい者保健福祉手帳3級					
非選択	343	89.09	42	10.91	n.s.
選択	119	83.22	24	16.78	
合計	462	87.50	66	12.50	
発達障がいなし					
非選択	319	86.68	49	13.32	0.003
選択	2,211	91.67	201	8.33	
合計	2,530	91.01	250	8.99	
発達障がい疑い					
非選択	2,374	91.34	225	8.66	0.030
選択	156	86.19	25	13.81	
合計	2,530	91.01	250	8.99	
発達障がい確定					
非選択	2,367	91.28	226	8.72	n.s.
選択	163	87.17	24	12.83	
合計	2,530	91.01	250	8.99	
認知症なし					
非選択	348	96.67	12	3.33	p<.001
選択	2,172	90.12	238	9.88	
合計	2,520	90.97	250	9.03	
認知症疑い					
非選択	2,324	90.64	240	9.36	0.031
選択	196	95.15	10	4.85	
合計	2,520	90.97	250	9.03	
認知症確定					
非選択	2,368	90.52	248	9.48	p<.001
選択	152	98.70	2	1.30	
合計	2,520	90.97	250	9.03	

薬物使用経験なし					
非選択	283	91.59	26	8.41	n.s.
選択	2,247	90.93	224	9.07	
合計	2,530	91.01	250	8.99	
前歴での薬物使用経験					
非選択	2,325	91.00	230	9.00	n.s.
選択	205	91.11	20	8.89	
合計	2,530	91.01	250	8.99	
今犯での薬物使用経験					
非選択	2,379	91.01	235	8.99	n.s.
選択	151	90.96	15	9.04	
合計	2,530	91.01	250	8.99	

(4)「再犯の有無」と罪名との関係

「再犯の有無」と罪名との関係については、「薬物事犯詳細不明(p=.023)」、「殺人未遂含む(p=.001)」との間に統計的に有意な差が見られた(表Ⅲ-4-9)。そこで、当該罪名が「あり」と回答した者の比率について見た結果、以下のことが明らかになった(ポイント省略)。

- 「薬物事犯詳細不明」が「あり」の者は、「再犯あり」の比率が高かった。
- 「殺人未遂含む」が「あり」の者は、「再犯なし」の比率が高かった。

表Ⅲ-4-9 「再犯の有無」と「罪名」とのクロス表

	再犯なし		再犯あり		p.value
	度数	%	度数	%	
窃盗					
なし	868	91.95	76	8.05	n.s.
あり	1,645	90.43	174	9.57	
合計	2,513	90.95	250	9.05	
詐欺					
なし	2,300	91.09	225	8.91	n.s.
あり	213	89.50	25	10.50	
合計	2,513	90.95	250	9.05	
強制わいせつ					
なし	2,444	91.13	238	8.87	n.s.
あり	69	85.19	12	14.81	
合計	2,513	90.95	250	9.05	
覚醒剤取締法					
なし	2,376	90.83	240	9.17	n.s.
あり	137	93.20	10	6.80	
合計	2,513	90.95	250	9.05	
毒物及び劇物取締法					
なし	2,507	90.97	249	9.03	n.s.
あり	6	85.71	1	14.29	
合計	2,513	90.95	250	9.05	

薬物事犯・詳細不明					
なし	2,512	91.01	248	8.99	0.023
あり	1	33.33	2	66.67	
合計	2,513	90.95	250	9.05	
医薬品医療機器等法違反					
なし	2,510	90.94	250	9.06	n.s.
あり	2	100.00	0	0.00	
合計	2,512	90.95	250	9.05	
傷害暴行等					
なし	2,300	90.87	231	9.13	n.s.
あり	213	91.81	19	8.19	
合計	2,513	90.95	250	9.05	
放火未遂含む					
なし	2,423	90.78	246	9.22	n.s.
あり	90	95.74	4	4.26	
合計	2,513	90.95	250	9.05	
住居建造物侵入					
なし	2,252	90.92	225	9.08	n.s.
あり	261	91.26	25	8.74	
合計	2,513	90.95	250	9.05	
器物破損損壊					
なし	2,434	90.92	243	9.08	n.s.
あり	79	91.86	7	8.14	
合計	2,513	90.95	250	9.05	
銃刀法違反					
なし	2,419	90.84	244	9.16	n.s.
あり	94	94.00	6	6.00	
合計	2,513	90.95	250	9.05	
道交法違反					
なし	2,444	90.79	248	9.21	n.s.
あり	69	97.18	2	2.82	
合計	2,513	90.95	250	9.05	
殺人未遂含む					
なし	2,409	90.63	249	9.37	0.001
あり	104	99.05	1	0.95	
合計	2,513	90.95	250	9.05	
強盗_未遂含む					
なし	2,441	90.91	244	9.09	n.s.
あり	72	92.31	6	7.69	
合計	2,513	90.95	250	9.05	
強制性交等未遂含む					
なし	2,492	90.92	249	9.08	n.s.
あり	21	95.45	1	4.55	
合計	2,513	90.95	250	9.05	

恐喝					
なし	2,482	90.95	247	9.05	n.s.
あり	31	91.18	3	8.82	
合計	2,513	90.95	250	9.05	
公務執行妨害					
なし	2,487	91.03	245	8.97	n.s.
あり	26	83.87	5	16.13	
合計	2,513	90.95	250	9.05	
迷惑行為等防止条例					
なし	2,495	91.03	246	8.97	n.s.
あり	18	81.82	4	18.18	
合計	2,513	90.95	250	9.05	
横領					
なし	2,454	90.86	247	9.14	n.s.
あり	59	95.16	3	4.84	
合計	2,513	90.95	250	9.05	
有印私文書偽造同行使					
なし	2,495	90.96	248	9.04	n.s.
あり	18	90.00	2	10.00	
合計	2,513	90.95	250	9.05	
スローカー規制法					
なし	2,508	90.97	249	9.03	n.s.
あり	5	83.33	1	16.67	
合計	2,513	90.95	250	9.05	
児童福祉法違反					
なし	2,511	90.95	250	9.05	n.s.
あり	2	100.00	0	0.00	
合計	2,513	90.95	250	9.05	
青少年健全育成条例違反					
なし	2,506	90.93	250	9.07	n.s.
あり	7	100.00	0	0.00	
合計	2,513	90.95	250	9.05	
偽計業務妨害					
なし	2,505	90.96	249	9.04	n.s.
あり	8	88.89	1	11.11	
合計	2,513	90.95	250	9.05	
軽犯罪法					
なし	2,505	90.93	250	9.07	n.s.
あり	8	100.00	0	0.00	
合計	2,513	90.95	250	9.05	
関税法違反					
なし	2,508	90.94	250	9.06	n.s.
あり	5	100.00	0	0.00	
合計	2,513	90.95	250	9.05	

罪名なしぐ犯					
なし	2,482	90.98	246	9.02	n.s.
あり	31	88.57	4	11.43	
合計	2,513	90.95	250	9.05	

(5)「再犯の有無」と定着の支援内容との関係

「再犯の有無」と定着の支援内容に統計的に有意な差が見られたのは、「状況確認(p=.014)」「行政手続き(p<.001)」、「支援会議(p=.001)」、「無断外出対応(p<.001)」、「対人関係対応(p=.008)」、「ルール違反对応(p<.001)」、「定期面談(p=.016)」、「電話対応(p=.001)」であった(表Ⅲ-4-10)。そこで、当該支援内容が「あり」と回答した者の比率について見た結果、以下のことが明らかになった。

- 「状況確認」が「あり」の者は、「再犯あり」の比率が高かった。
- 「行政手続き」が「あり」の者は、「再犯あり」の比率が高かった。
- 「支援会議」が「あり」の者は、「再犯あり」の比率が高かった。
- 「無断外出対応」が「あり」の者は、「再犯あり」の比率が高かった。
- 「対人関係対応」が「あり」の者は、「再犯あり」の比率が高かった。
- 「ルール違反对応」が「あり」の者は、「再犯あり」の比率が高かった。
- 「定期面談」が「あり」の者は、「再犯あり」の比率が高かった。
- 「電話対応」が「あり」の者は、「再犯あり」の比率が高かった。

(各支援内容の実施頻度との関係)

「再犯の有無」と各支援内容の実施頻度との関係については、表Ⅲ-4-11に示す通りであった。

● 状況確認の実施頻度について

「再犯の有無」と「状況確認」に関する実施頻度との間に統計的に有意な差が見られたのは、「年に1回程度(p<.001)」、「月に2回程度(p<.001)」、「月に4回程度(p<.001)」、「月に5回以上(p<.001)」であった。そこで、当該項目が「実施あり」と回答した者の比率について見た結果、以下のことが明らかになった。

- 「年に1回程度」が「実施あり」の者は、「再犯なし」の比率が高かった。
- 「月に2回程度」が「実施あり」の者は、「再犯あり」の比率が高かった。
- 「月に4回程度」が「実施あり」の者は、「再犯あり」の比率が高かった。
- 「月に5回以上」が「実施あり」の者は、「再犯あり」の比率が高かった。

- 行政手続きの実施頻度について

「再犯の有無」と「行政手続き」に関する実施頻度との間に統計的に有意な差が見られたのは、「年に1回程度 (p=.001)」、「月に1回程度 (p=.033)」、「月に2回程度 (p<.001)」であった。そこで、当該項目が「実施あり」と回答した者の比率について見た結果、以下のことが明らかになった。

- 「年に1回程度」が「実施あり」の者は、「再犯なし」の比率が高かった。
- 「月に1回程度」が「実施あり」の者は、「再犯あり」の比率が高かった。
- 「月に2回程度」が「実施あり」の者は、「再犯あり」の比率が高かった。

- 支援会議の実施頻度について

「再犯の有無」と「支援会議」に関する実施頻度との間に統計的に有意な差が見られたのは、「年に1回程度 (p=.001)」、「月に1回程度 (p<.001)」、「月に2回程度 (p=.047)」であった。そこで、当該項目が「実施あり」と回答した者の比率について見た結果、以下のことが明らかになった。

- 「年に1回程度」が「実施あり」の者は、「再犯なし」の比率が高かった。
- 「月に1回程度」が「実施あり」の者は、「再犯あり」の比率が高かった。
- 「月に2回程度」が「実施あり」の者は、「再犯あり」の比率が高かった。

- 金銭管理の実施頻度について

「再犯の有無」と「金銭管理」に関する実施頻度との間に統計的に有意な差が見られたのは、「年に6回程度 (p=.028)」であった。そこで、当該項目が「実施あり」と回答した者の比率について見た結果、以下のことが明らかになった。

- 「年に1回程度」が「実施あり」の者は、「再犯なし」の比率が高かった。

- 家事援助の実施頻度について

「再犯の有無」と「家事援助」に関する実施頻度との間に統計的に有意な差が見られたのは、「月に1回程度 (p=.019)」であった。そこで、当該項目が「実施あり」と回答した者の比率について見た結果、以下のことが明らかになった。

- 「月に1回程度」が「実施あり」の者は、「再犯あり」の比率が高かった。

- 送迎支援の実施頻度について

「再犯の有無」と「送迎支援」に関する実施頻度との間に統計的に有意な差が見られたのは、「月に2回程度 (p=.049)」であった。そこで、当該項目が「実施あり」と回答した者の比率について見た結果、以下のことが明らかになった。

- 「月に2回程度」が「実施あり」の者は、「再犯あり」の比率が高かった。

- 無断外出対応の実施頻度について

「再犯の有無」と「無断外出対応」に関する実施頻度との間に統計的に有意な差が見られたのは、「月に2回程度(p=.022)」であった。そこで、当該項目が「実施あり」と回答した者の比率について見た結果、以下のことが明らかになった。

- 「月に2回程度」が「実施あり」の者は、「再犯あり」の比率が高かった。

- ルール違反对応の実施頻度について

「再犯の有無」と「ルール違反对応」に関する実施頻度との間に統計的に有意な差が見られたのは、「月に2回程度(p<.001)」であった。そこで、当該項目が「実施あり」と回答した者の比率について見た結果、以下のことが明らかになった。

- 「月に2回程度」が「実施あり」の者は、「再犯あり」の比率が高かった。

- 定期面談の実施頻度について

「再犯の有無」と「定期面談」に関する実施頻度との間に統計的に有意な差が見られたのは、「年に1回程度(p<.001)」、「月に2回程度(p<.001)」、「月に4回程度(p<.001)」であった。そこで、当該項目が「実施あり」と回答した者の比率について見た結果、以下のことが明らかになった。

- 「年に1回程度」が「実施あり」の者は、「再犯なし」の比率が高かった。

- 「月に2回程度」が「実施あり」の者は、「再犯あり」の比率が高かった。

- 「月に4回程度」が「実施あり」の者は、「再犯あり」の比率が高かった。

- 助言の実施頻度について

「再犯の有無」と「助言」に関する実施頻度との間に統計的に有意な差が見られたのは、「年に1回程度(p=.005)」、「月に2回程度(p=.012)」、「月に4回程度(p=.001)」であった。そこで、当該項目が「実施あり」と回答した者の比率について見た結果、以下のことが明らかになった。

- 「年に1回程度」が「実施あり」の者は、「再犯なし」の比率が高かった。

- 「月に2回程度」が「実施あり」の者は、「再犯あり」の比率が高かった。

- 「月に4回程度」が「実施あり」の者は、「再犯あり」の比率が高かった。

- 電話対応の実施頻度について

「再犯の有無」と「電話対応」の実施頻度との間に統計的に有意な差が見られたのは、「年に1回程度(p=.003)」、「年に4回程度(p=.019)」であった。そこで、当該項目が「実施あり」と回答した者の比率について見た結果、以下のことが明らかになった。

- 「年に1回程度」が「実施あり」の者は、「再犯なし」の比率が高かった。

- 「年に4回程度」が「実施あり」の者は、「再犯なし」の比率が高かった。